

磐城時報

編輯兼發行人 岡田 弘 成
印刷 磐城石城郡平町新田十四
印刷所 磐城石城郡平町新田十四
電話 二五五
廣告料 一行十文字 一月五元 三月十元 半年十五元 一年三十元 印刷費別計
△日刊(日曜、祭日)休刊

男性の本能を挑發する 華美な服装は慎しめ

暑時の性的犯罪を憂へて 猪狩平警察署長談

暑氣が加はるにつれ戸締りも怠り勝ちで又婦人の外室時などは薄着を用ふるやうになるので性的方面の問題も持ち上つて來る。猪狩平警察署では今からその對策に腐心してゐるが、之について猪狩平署長は語る。

「これから暑氣も愈々加はり益々の度を加ふることも豫測されて居ります。夜分になると人々は涼を追ふて當もなく夜店、呉服店等の美しいショールウインドー眩惑の瞳を張りな共濟委員會石城郡方面委員會はしつづつと注意すべき事は、家を全然留守にしないこと、もし全家不在にする時は、特に戸締りを厳重にして、尚ほ隣家にでも留守にする旨を断つてお互に夏季に最も多い空巢ねらひその他の犯罪防止に一途警察の取締のみに俟たず、自發的防衛線を張ることが緊要であります。次に婦人の薄物から醸される性的犯罪—最近活動常設館、劇場等公衆の集會所、暗がり公園のベンチ等に於て妙齡の婦人の縁の黒髪或は着衣が何時の間にか切られて居たり帯の結び目の間に奇怪な繪畫寫眞等がしのばせられてあつたりする事が聞かれます。しも(二〇)同じく(十七)の三名専科木喜政君外一名の青森、東京等には物盗りの仕業では勿論是等は不良青少年の變態性的犯行だが、脇チブスだけでも七月に青森からスタートを切り九日目に平町へ到着する豫定であるが、當日平町青年團幹部は四倉町まで自動車を出迎へ、磐城中學校技師選手は母校の先輩を遇すべく同所より一行と共に平町まで疾走し鎌田橋に入る。前で大花輪を打擲げ平銀行を開き有志より記念品を贈り翌日午前七時出發に際しては前日同様警中選手が湯本町まで見送りをなす等である。

方面委員會 傳染病豫防のため 臨時衛生法の計劃

梅雨明けと言ひ乍ら頭を押へつ入つてから愈々流行期となるので、この頃暑氣を加へるにつつと同時近く臨時衛生法の實行を望む。現在腸チブス三十三名、赤痢一名で十八日の如きは赤痢患者として平町堂の前大谷きみ子縣會議員鈴木辰三郎氏の令息東郷等がしのばせられてあつたりする事が聞かれます。しも(二〇)同じく(十七)の三名専科木喜政君外一名の青森、東京等には物盗りの仕業では勿論是等は不良青少年の變態性的犯行だが、脇チブスだけでも七月に青森からスタートを切り九日目に平町へ到着する豫定であるが、當日平町青年團幹部は四倉町まで自動車を出迎へ、磐城中學校技師選手は母校の先輩を遇すべく同所より一行と共に平町まで疾走し鎌田橋に入る。前で大花輪を打擲げ平銀行を開き有志より記念品を贈り翌日午前七時出發に際しては前日同様警中選手が湯本町まで見送りをなす等である。

青森、東京 長途マラソン

けふ、出發
二十日(日)から土用に入り、土用はしをいたし、衣類、家具、調度品の手入整理をいたしませう。

少年を手先きとする 窃盜の親分捕はる

栃木縣鹽谷郡藏原村字上瀧生當湯本町を徘徊中平署に檢舉され、住所不定無職栗原藤太郎(二)たものであるが、幸一の外數名の手先きを使つて大任掛けな泥棒を行つてゐたものであつた。

織田自轉車店で 面白い家族慰安會

平町南町織田自轉車店では昨年三月以降行つてゐたスバルタ號自轉車二百臺の抽籤會が完了したのでその祝ひと購買者の慰安を兼ね二十三日新舞子仁井田浦で家族慰安會を催はす事になつた。参加資格者は自轉車を買つた家族中婦人に限り午前九時織田自轉車店前集合海岸に於て福引の催はしあり一等から三等まで自轉車一臺、四等正金五十圓、五等金時計以下全部空籤なしで賞金總額六百圓に達してゐるが面白い催はしだとして人氣を呼んでゐる。

前科者の所爲

東京市深川區大工町生れ佐藤勝三郎(三七)は大正四年以來十數回に亘つて破産をなし懲役三年に處せられ昨年出獄したものであるが本年三月以來玉川、警署湯本等で手當り次第に自轉車を窃取したので平署に捕はれた。

土用から 土用はしの注意

二十日(日)から土用に入り、土用はしをいたし、衣類、家具、調度品の手入整理をいたしませう。

淺野社長 磐城で講演

去る五月一日磐城炭礦の社員を中心として磐城劇場に講演した。淺野社長は「俺は當年八十一歳になつてゐるが毎日四時からおきてかうして一生懸命になつて働いてゐる、然るに君達は若い癖にのらくらしてゐるとは何事だ。俺はモウ二十年働いて未だ空しく棄て、ある國家の富を開発する。と若返つて大に氣を奮らす。」と奮然と語つた。

武勇の 自慢ばなし

平町老兵會で
新舞子清遊
平町に在住する日清、日露の兩戰爭に參加した老兵約八十名は二十日午前九時平町出發新舞子に清遊を試み地曳綱、角力、徒歩競走等余興あり終つて戰爭

預金の賣買に應じます

取扱ひは親切迅速
平町仲田町
株式會社
電話四六五番

岡田家で 百圓寄附

鼻の薬「チクノール」
平五 山野邊藥局

吐いた大實業家磐城炭礦株式會社社長淺野總一郎翁は八十一歳の高齡を提げ目下全國各地を巡回講演中であるが近く廿二、廿三日二日間平町に亘り、湯本、小名濱の各町村において修養團の贊助員として次回の講演を試むることになつてゐる。翁が修養團員として奮然と起した功績に關し聞かす所によれば、私は全國を巡回する一理由は近來悪思想が各方面に侵入し中産業界の各所は憂ふべき結果を齎した事志により平町小學校基本財産を是等心に堪えない事と、私がして一百圓を寄附した。

危険な狂人

平町で捕はる 玉川村島若松初太郎(三七)は精神病者として自宅に監禁中十七日家人の隙を見て家出し十八日平町を出刃を持って徘徊中発見取押へられた。

美しい店員

湯本町 小林 生 ▲私は大都會に任める同じ店員諸君が羨ましくならぬ、何故自分は都會の店員諸君を羨むか。 ▲第一彼等店員の出生は腕次第である、忠實に奮勵さへすれば彼等店員を容れる天地は甚だ廣い。第二は彼等店員諸君の活動は自由自在である、豊富な資本を有する大商店に仕へる彼等都の店員は日本全國外國の舞臺までも乗り出して活動することが出来る。 第三は獎勵法の完備である、一定の店員によつて慰安も與へられ休養も許される。 ▲第四は店員が日常の生活は單調でない、日々新鮮らしい事物に接し、活動の範圍も廣くから全國重なる都市名所舊跡をさぐる機會が多い。第五はお互に獨立の體である、大木の枝は矢張り太いが根の根からは矢張り細いが生へない、翻つて自分等の境遇を見れば何程汗水流して働いたとて極つてゐる。

▲田舎店の一番々頭位に甘んじらるより外任方がない、自分がいくら全力を振つて活動しやうと思つても資本、運賃、信用等の關係から需給の範圍は自然一小局部に制限せられてしまふ。 ▲田舎の商店のすべてをば、獎勵法などはセロである、慰安の設備もなければ休養の規定もない、毎日々々平々凡々

殆ど厭き／＼してしまふ。 ▲得意廻りと云つたところできまりきつた在位なものである、しかし自分は出世の道がないから云つて働かない者でもない、自由の活動が出来ない云つて遊んでゐる者でもない。 ▲狭い範圍も一村でも多くし、少い得意も一人でも増したいと努めてゐる。私がかう云ふ事を云ふたならば人は、きつと名利虚榮、血氣に驅られる者と云はれるだらう。私はよくこれを承知してゐる、人のことは其美点ばかり見えて暗黒面は見られないものと云ふことも知つてゐる。 ▲田舎店員として狭い天地に活動する位が自分の全能力とは、知りながら、是非一度廣々とした天地に出て思ふ存分心行くまで活動して見たい。

謝 恩 接 待
丸昇軒食堂
開業五週年紀念
電話三四三九番

外科 門 院 隨 意
上田外科醫院
南町四三九

廿日ヨリ 大帝キネ特作 實川延松主演 忍術膝栗毛 第二編 奮闘劇 道雲齋の妖術? 阪東豊昇、久野あかね助演 帝キネ犧牲的特作 本年三月十一日東京に起りし美談 鮮血の譽 特別上映 烈風豪雨血塗れの大地物語 芝罘岩岩後藤、永田二警官 血闘實録 藤間林太郎、吉田豊作、沖田英二主演 マキノ超特作青年派大努力篇 原作吉川英二少年俱樂部連載 神州天馬俠 第三編 マキノ現代劇 中根龍太郎、杉狂児主演 およし 人の噂 卷六 土曜日曜學生生テ一 帝キネ 有聲座

共 存 共 榮
融 金 / 易 簡
蓄 貯 / 味 趣
堅 固 / 意 誠
丸昇軒食堂

大和田醫院 耳鼻咽喉科
電話一七〇番

二十日ウシの日 賣出し 江戶前腕自慢 かばやき一圓以上 うなごん八十錢以上 南町平館隣り 電話四二四番 魚 榮 美味で安値... 出前は迅速配達

セメント 壁用材料 コールタール ペンキ塗料 板ガラス 代理店 西村屋藥舗 平町二丁目 電話三三番

外科專門 安齋外科醫院 診療時間(午前八時より午後九時まで) 但し急患は此の限にあらず

ラチオの御用なら 平塚車場前高野自轉車店ラチオ部へ御用命を願ます ◎三球式(附屬品一切付キ) A金百拾圓也 B金八拾五圓也 C金七拾圓也 ◎一球式 A蓄電池 (レシパー付) 金參拾參圓也 部分品、ラチオ製作、取付工事其他 高野自轉車店ラチオ部 電話三二二六番 仙臺放送局指定加入申込取扱所

印刷物の御用は... 加納活版所 故治作葬送の際には遠路の處態々御會葬成被下有難く御禮申上候一々拜趨御厚禮申上ぐ可き筈の處乍畧儀以紙上御挨拶申上候 昭和三年七月二十日

男岡田千藏 外親戚一同